

2016年3月期の連結ソルベンシー・マージン比率の公表について

2016年3月期の当社連結ソルベンシー・マージン比率（保険持株会社およびその子会社等に係る保険金等の支払能力の充実の状況）を、下記のとおり算出しましたのでお知らせいたします。

記

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当連結会計年度 (2016年3月31日)
(A)連結ソルベンシー・マージン総額	5,336,308	4,793,890
資本金等	1,135,707	710,374
価格変動準備金	82,945	88,144
危険準備金	48,380	48,068
異常危険準備金	1,010,824	1,108,072
一般貸倒引当金	2,867	1,876
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	2,360,278	2,004,174
土地の含み損益	177,023	193,708
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	△ 31,142	△ 24,411
保険料積立金等余剰部分	254,890	286,376
負債性資本調達手段等	—	—
保険料積立金等余剰部分及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
少額短期保険業者に係るマージン総額	82	71
控除項目	55,301	62,490
その他	349,751	439,924
(B)連結リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{(R_1^2+R_2^2)}+R_3+R_4)^2+(R_5+R_6+R_7)^2+R_8+R_9}$	1,365,965	1,211,446
損害保険契約の一般保険リスク(R ₁)	275,627	324,557
生命保険契約の保険リスク(R ₂)	53,215	64,482
第三分野保険の保険リスク(R ₃)	4,562	4,655
少額短期保険業者の保険リスク(R ₄)	40	25
予定利率リスク(R ₅)	31,892	30,547
生命保険契約の最低保証リスク(R ₆)	3,335	2,995
資産運用リスク(R ₇)	938,638	727,747
経営管理リスク(R ₈)	32,519	30,087
損害保険契約の巨大災害リスク(R ₉)	318,644	349,385
(C)連結ソルベンシー・マージン比率 [(A)/(B)×1/2]×100	781.3%	791.4%

(注) 「連結ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第210条の11の3および第210条の11の4ならびに平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出された比率です。当該比率は、行政当局が保険会社グループを監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。

なお、当連結会計年度については、平成28年内閣府令第16号および平成28年金融庁告示第10号の改正内容を反映しており、「(A)連結ソルベンシー・マージン総額」のうち、従来の「その他有価証券の評価差額(税効果控除前)」が、「その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)」へと変更されています。また、前連結会計年度については、当該改正内容を反映する前の規定に基づいて算出しています。

以上